

「無所属の会・市民ネット」

<http://www.mushozoku.net>

～ 強く優しく～



越川まさふみ

湯浅止子

秋本のり子

「無所属の会・市民ネット」

無党派層の受け皿を目指す!

国政選挙・地方選挙を問わず、低投票率が続いております。民主主義は、国民の政治参画が前提であるにもかかわらず、気が付けば政治が国民生活から遊離してしまい、「投票に行きたけれど、支持する政党や候補者がいない」と感じている国民が増えているのではないのでしょうか。

この政治離れの傾向は市川市も例外ではありません。我々が当選した前回の市議会議員選挙の投票率は36%、昨年の市長選挙の投票率はなんと21%でした。兵庫県議会に端を発した政務活動費の不適切な使途の問題や東京都議会におけるセクハラやジ問題など、地方議会を取り巻く現状は更に厳しくなっております。新しい感性を市議会に投入し、旧態依然とした議会を市民に身近な存在に変えていくべき理由がここにあります。

市川市議会における 無党派層の受け皿を目指す!

「無所属の会・市民ネット」は平成25年8月に、無党派層を支持基盤とする3名の市議会議員、会派代表の越川まさふみ(無所属、1期)と、若き代表を支える女性議員湯浅止子(無所属、2期)・秋本のり子(市民ネットワーク・市川、2期)によって結成されました。

「数の力に屈しない!」「長いモノにも巻かれない!」を合言葉に、国政政党とのしがらみのない自由な立場から議案質疑や一般質問を展開し、市議会で存在感を発揮しております。

早いもので、平成26年も残りわずかとなりました。そこで今回は、「無所属の会・市民ネット」の1年の活動を振り返ります。市民の方々は政治に関心が低いのではなく、受け皿がないだけなのだ!。そう信じて活動する市議会議員3名の挑戦の記録をご覧ください。

市川市議会はいま変わりつつあります。是非とも新しい力にご期待ください!



市川市議会議員 米国公認会計士

越川まさふみ

〒 272-0035 市川市新田 4-12-19-406 号
TEL : 047-377-5777 FAX : 047-727-2111
e-mail : contact@koshikawa-spirit.net
http://www.koshikawa-spirit.net/

夢もデカいが
手もデカい

プロフィール

- 昭和48年10月28日生まれ、O型
- 身長・体重:180cm 80±2kg
- 市川市立東国分中学校卒業(第8期)
- 市川高等学校(市川学園)卒業(第44回)
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業(第138回)
- 米国公認会計士・経営コンサルタント。
- (株)福田組、あずさ監査法人、KPMGLLPを経て株式会社越川雅史経営研究所を設立。
- 平成23年市川市議会議員初当選(無名の新人・無所属の挑戦!!)、無所属新人ながら3,354票を賜る。
- “二足の草鞋”を武器にするビジネス政治家として、専門誌「日経グローバル」に注目される。
- 市川市議会会派「無所属の会・市民ネット」代表、総務常任委員会委員、行徳臨海部特別委員会委員

会計士の視点を生かして

地域インフラの整備が十分だった一昔前の市議会議員の役割は、地元で予算を引っぱり、インフラ整備を進めることだったのかも知れませんが、今でもそれは重要な仕事の1つではあります。一定の規律が求められる昨今の財政状況下にあつては、単に予算を要求するだけでなく、予算執行の適否を判断するとともに、効果的な予算の使い方を提案することも重要な役割があると考えています。

6月定例会の一般質問では、「本市が収蔵する美術品」について独自に調査した結果を採り上げ、本市が約5億円もの税金を投じて購入した美術品394点のうち、購入後1度も展示されていない作品が133点(約34%)、10年以上展示されていない作品が37点(約9%)あることを突き止め、全体の約43%が「10年以上も倉庫に眠ったままの状態」であることを指摘し注目を集めました。更に、定期

的な実地棚卸しが行われていないこと、倉庫へのアクセス管理に不備があること、時価評価が行われていないことも併せて指摘しました。

しかし、ただ問題をあげつらうばかりでは解決には至りません。そこで、米国公認会計士・経営コンサルタントの経験を生かしたソリューション(問題解決策)として、①すべての作品をデジタルミュージアムとしてHPなどで公開する、②市内の銀行や信用金庫などに一定の条件のもと貸し出す、③新たに建設される本庁舎に展示スペースを設ける、④庁舎建替えに際しては全館空室となるタイミングで庁舎丸ごと美術館にする(「美術館構想」といった提言を行いました。まずは「徹底的に展示・公開すべき」、「あるものは使おう(既存リソ-



▲“二足の草鞋”として、日経グローバルの「奮闘地方議員」のコーナーで紹介されました
www.koshikawa-spirit.net/library/にてご覧頂けます

「スの活用」という発想です。一方で、どうしても展示の機会を確保できないのであれば「一定の条件下、他者に譲渡することも検討すべき」とも提案しました。「展示しない作品を持ち続けるための倉庫に予算を投ずるよりも、その費用と売却益を若手芸術家支援の予算に充て、育成を図るべき」と考えたからです。

行政がやることを追認するだけの議会であれば、その存在価値は著しく低下します。問題解決策を示して政策を実現していく。議会経験を重ねるごとに、この新しい手法に磨きをかけて参ります!

議員発議にも
力を入れています!

- 市議会議員は、地方自治法の規定により「議会の議決すべき事件につき議案を提出すること」ができます(議員発議)。「無所属の会・市民ネット」は、単に市長提出議案の賛否を決するだけでなく、議員発議にも積極的に取り組んでいます。
- 会派結成以来、力を入れた議員発議は1年間で25本。全会派の中でも突出した仕事ぶりを発揮しています。
(平成26年11月30日現在)
- 「無所属の会・市民ネット」が中心となって取り組んだ議員発議(主なもの)
 - 【平成25年9月定例会】
 - 「原発に依存しない社会の構築と再生可能エネルギーの利用拡大を求める意見書」↓可決
 - 「少人数学級(30人以下)の推進を求める意見書」↓可決
 - 「介護保険の軽度の認定者に十分な介護サービスを提供することを求める意見書」↓可決
 - 「日本国憲法第96条の改正に反対する意見書」↓否決
 - 「原発事故子ども被災者支援法」基本方針案に関し、公聴会の継続的開催と真に被災者を支援する施策の実現を求める意見書」↓可決
 - 「東京電力福島第一原子力発電所の放射能汚染水問題に関し、政府が全面的に責任を持つ体制を確立するとともに被災者支援の抜本的強化を求める意見書」↓可決
 - 「重度心身障害者(児)医療給付改善事業の現物給付化への対応に関する意見書」↓可決
 - 【平成25年12月定例会】
 - 「平成32年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う練習場誘致に関する決議」↓可決



市川市議会議員

秋本のり子

市民ネットワーク・市川
〒272-0023 市川市南八幡 3-7-16-301
TEL : 047-369-7410
http://shiminnet-ichikawa.com

プロフィール

1957年 神奈川県川崎市に生まれる 普連土学園中学、高校卒業 聖徳栄養短期大学卒業
1978年 社団法人松井病院食養内科で栄養士として勤務、その後、料理教室を開く
1985年 結婚後、市川市に住む 認知症の義母の介護(8年) PTA、子ども会役員活動 行徳公民館ウーマンカレッジの企画に参加 市川市主催女性大学院参加 市川市主催市民懇話会参加
1999年 市川市に女性市議をふやそうネットワークの活動に参加
2006年 「平和・無防備条例」制定の署名活動に参加
2007年 市川市議会議員に当選
2011年 市川市議会議員に再選
現在 健康福祉委員会、市川市総合計画審議会委員、市川市議会議員団役員

9月議会 一般質問

DV(ドメスティックバイオレンス)対策について問う

市川市第2次DV防止実施計画(H26から28)をみると、DVの認知度は91%と高いが、その被害者は減っていない、配偶者暴力相談支援センターが開設されたので何う。

①相談件数について

〔答弁〕 DV相談はH22年までは300件前後で推移していたがH23年10月から参画センターにあった相談室が配偶者暴力相談支援センターとなり平成25年度が1339件で4倍の増加となっている。

②相談件数が増えている理由はなにか

〔答弁〕 配偶者暴力相談支援センターとなり、相談機能が拡大され「自立に向けたDV相談に関する証明書」が発行できるようになり、DV被害者の負担軽減が図られるようになったことが大きい。

③相談員の相談体制について

〔答弁〕 現在、女性相談員は6名で「裁判所の保護命令制度の利用の援助」や「証明書の発行業務」が追加されこれまで以上に高いスキルが求められています。

④市内には県の配偶者暴力相談支援センターも設置されました。(県内に15箇所)

本市との違いはなにか

〔答弁〕 24時間対応の電話相談を実施していること、シェルター機能を有していること、男性の電話相談、精神疾患を抱える相談者の対応をしていること。

〔秋本から〕県と市でセンターが2つあるメリットをいかに、DV防止を進められるようになったこの期をいかし、被害者救済を進めて欲しいと願います。



▲市川市男女共同参画センター

女性の起業支援について問う

〔答弁〕 創業時に要する費用の一部を助成する「市川市女性等創業支援補助金」事業は、20代から50代の会社員、専業主婦、個人事業者などから男性4名、女性5名から応募があり、審査の結果、4名の女性を採択しました。採択された事業は、「地域に根ざしたケーク専門店」・「海外留学生向けの不動産仲介業」・「土産物やイベントグッズに特化した雑貨品の製造販売業」・「ホームステイ感覚で学べる英会話教室」の4事業です。1人はすでに起業され、他の3人は準備中です。課題としては、資金調達や財務、税務、法務に関するセミナーの充実や活動しやすい環境づくりを男女共同参画課をはじめ関係各課と進めます。

〔秋本から〕起業に関してのセミナー等に多くの参加者があり、良い反響があると伺いました。課題としてあげられた環境づくりを進めるよう要望しました。

●「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」↓否決

●「地方自治体が行う放射性物質対策に財政的支援策を求める意見書」↓否決

●「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」↓否決

●「辺野古沖移設を強引に押し進める政府に対して激しく抗議し、普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖撤去を求める意見書」↓否決

●「平成26年2月定例会」

●「安倍内閣に対して、集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書」↓否決

●「国分川調節池における植物の種子飛散による市民生活への影響を軽減するための対策を求める意見書」↓可決

●「平成26年6月定例会」

●「国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書」↓可決

●「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」↓可決

●「安倍内閣が進める集団的自衛権に係る解釈改憲に対して、慎重な上にも慎重を期した議論を求める意見書」↓否決

●「JR新小岩駅にホームドアの設置を求める意見書」↓可決

●「岩井清郎議長に対する不信任決議」↓否決

●「松永鉄兵副議長に対する不信任決議」↓否決

●「平成26年9月定例会」

●「安倍内閣に対し集団的自衛権行使を容認した閣議決定の撤回を求める意見書」↓否決

●「安倍内閣に対し川内原発の再稼働を断念することを求める意見書」↓否決

●「議案第13号市川市使用料条例等の一部を改正する条例案に対する修正案」↓否決(総務常任委員会)



市川市議会議員

湯浅止子

〒272-0805 市川市大野町3-1766
TEL: 047-337-7175
<http://otomypress.blogspot.jp>

プロフィール

1947年 静岡県熱海市生まれ
1964年 市川市立第四中学校卒業
1967年 千葉県立松戸高等学校卒業
1972年 法政大学卒業
1972年4月～2007年3月 千葉県市川市内公立学校教諭として勤務 第3中学校・下貝塚中学校・第8中学校・第1中学校・第5中学校
その間・市川市教職員組合執行委員・女性部役員を歴任・中学校/バレ一部顧問
2007年5月 市川市議会議員初当選
2011年4月 市川市議会議員再選
現在 環境文教委員・議会運営委員会副委員長・大町レクリエーションゾーン委員・市川民話の会副会長・市川市芸術文化団体協議会事務局長・湯浅ふるさと会副会長

光陰矢の如し

光陰矢の如し、あつという間の4年間が過ぎようとしています。議員の役目を果たせたかどうか、評価は来年の3期めへの挑戦の結果でわかると思います。

本が好きで国語の教員に、司書教諭の資格をとって学校図書館にもかかわってきました。未来を担う子ども達によい教育環境を整えるために教育から市政へと活動の場が移りました。行財政改革を市川市も取り組んでいて、最初に削減されていくのが利を産まない文化芸術や教育です。しかし、お金では買えない、見えないが豊かな人間の心の潤いや感性が大事な宝だと考



▲中央図書館

9月議会 一般質問

えます。今、公共図書館(室)の削減案が浮上しています。文化都市市川と謳うなら、図書館、美術館、博物館というように並べても図書館の存在

【議案】地域子育て支援センター事業委託料1024万円
の減額補正について
質疑しました。

減額の理由は事業の委託先が予定より少なく、人手不足の面もあるとの答えでした。子育て支援は、市川はとてよく取り組んでいます、偏りがあります。
支援センター
北部4ヶ所 南部7ヶ所
親子のつどい
北部1ヶ所 南部3ヶ所
保育の質を担保するためにもしっかり注視していきます。

【一般質問】

●子どものおかれている

状況について

1 就学援助費の現状と今後

は大きいです。電子書籍やインターネットでの購入も便利ですが、街の一隅にある図書館(室)にしかない雰囲気や空間を大切にしたいと考えています。
今できる議会活動を精一杯やります。

の方向性
2 所在不明の子どもの調査方法と今後の対策
3 子どもの貧困対策の推進

見えないところで子どもの貧困が進み、進学にも就職にも格差が出てきました。就学援助も少しずつ減額されています。
市川では、そんなことはいと答弁をいただきました。

●小・中・特別支援学校のエアコンについて

理科室や家庭科室等の特別教室への設置を4回も要望してきましたが、なかなか前に進みません。

黙っていても何もかわりません。声をおきかせください。

討論

「討論」とは議案に対して議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言です。「無所属の会・市民ネット」は市民の皆さんに対してなぜその結論に至ったのか説明責任を果たすべく、単に議案への賛否を決するのではなく、討論において会派の意見を表明することに力を入れています。

会派結成以降、我が会派の越川雅史議員の討論登壇回数は5回を数え、市川市議会全議員の中でNo.1! 積極的な発言で議会の議論をリードします! (平成26年11月30日現在)

「無所属の会・市民ネット」が所属議員が登壇した事件

- 【平成25年9月定例会】
認定第1号「平成25年度市川市一般会計・特別会計及び公営企業会計決算の認定について」
- 【平成26年2月定例会】
議案第60号「平成26年度市川市一般会計予算について」
- 【平成26年6月定例会】
発議第1号「岩井清郎議長の不信任決議について」
- 発議第2号「松永鉄兵副議長の不信任決議について」
- 【平成26年9月定例会】
発議第16号「市川市敬老祝金支給条例の一部改正について」



<http://www.mushozoku.net>
にてバックナンバーも
ご覧頂けます